

消費者として森林・林業基本計画に望むこと

グリーンコンシューマー東京ネット
理事 善財裕美

長期的視点で日本の森林・林業のあり方の方向性を明確に示す総論を期待しています。

1. 情報の不足

- ・ 消費者は、日本の森林や林業の現状をある程度理解
- ・ 的確な情報を受け取ることを希望
- ・ 高コスト構造
- ・ コスト高は今後の施策で解消
- ・ 自給率は2割、国内の森林は手入れ不足で荒廃

2. バランスの取れた意見収集

- ・ 「『木』についてのアンケート」を参考に
- ・ 多様な立場の意見を基本計画に反映
- ・ 中間のまとめの時点で是非パブリックコメントを

3. 協働の重要性

- ・ 団塊の世代の大量退職と森林保全のボランティア
- ・ 行政はNPO団体と企業や個人とのコーディネーター役

4. 次世代に向けた施策展開

- ・ バイオマスの推進に関しては十分配慮
- ・ 違法伐採木への対処は社会全体で対応
- ・ 対処療法ではなく長期的な展望に立った施策